

東美濃の山城



MOUNTAIN CASTLE RUINS OF HIGASHI MINO



恵那市

岩村城跡と岩村城下町

Iwamura Castle Ruins and Iwamura Castle Town

可児市

美濃金山城跡

Minokaneyama Castle Ruins

中津川市

苗木城跡

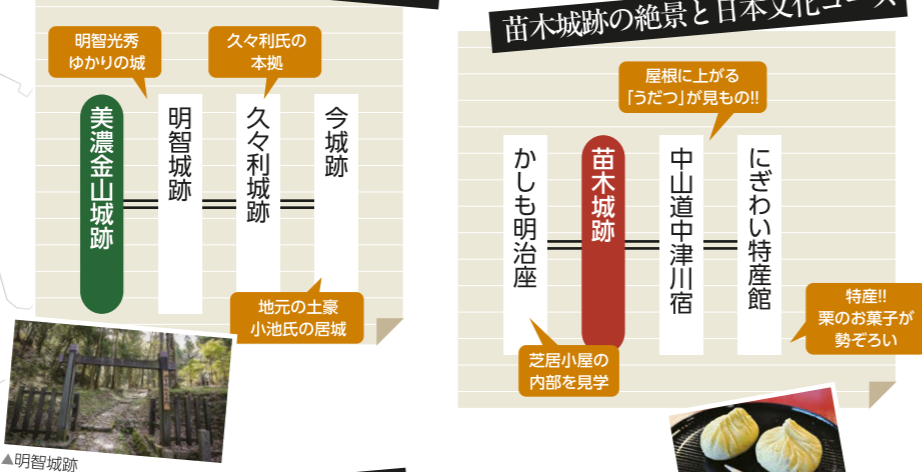
Naegi Castle Ruins

おすすめコース

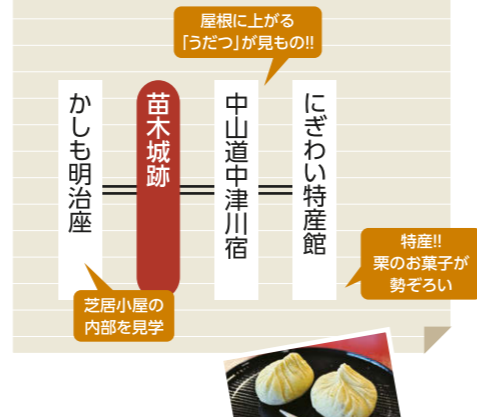
女城主の里 いわむらコース



可児市の戦国山城 がつり城攻めコース



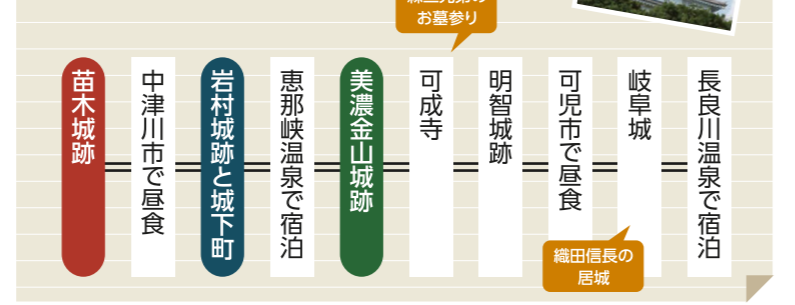
苗木城跡の絶景と日本文化コース



グループにおすすめのワイワイコース

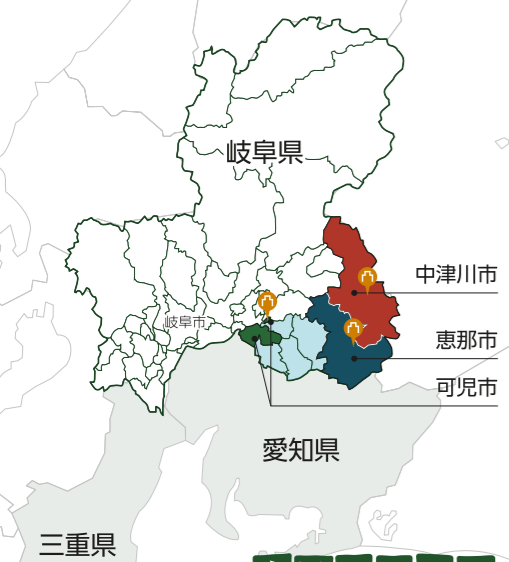


お泊まりで城・城・城コース



諸注意

- 夏でも長袖・長ズボンにしましょう。
- 帽子をかぶりましょう。
- 水分補給を忘れないようにしましょう。
- コース外には出ないようにしてください。
- 石垣の上は滑ったり、万一崩れたりする場合があります。危険です。注意しましょう。
- 落書きや故意に傷をつけるなどのイタズラは罰せられます。
- 冬季は凍結や積雪にご注意ください。
- マナーを守って、大切に後世へ遺していきましょう。



交通アクセス



(一社) 恵那市観光協会岩村支部
☎0573-43-3231
恵那市岩村町263-2



可児市観光交流課
☎0574-62-1111
可児市広見1-1



中津川市観光案内所
☎0573-62-2277
中津川市栄町1-1 にぎわいプラザ1F

岐阜の観光情報はココでチェック!
ぎふの旅ガイド
https://www.kankou-gifu.jp/

岐阜県商工労働部観光企画課
ぎふの旅
☎058-272-1111
岐阜市藪田南2-1-1

※掲載価格は総額(税込)表示です。掲載情報は2021年3月現在のものです。

日本一高い場所にある山城、別名「霧ヶ城」

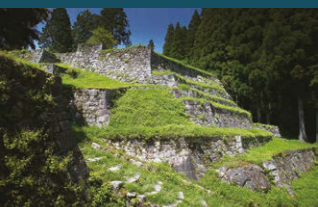


岩村城跡と 岩村城下町

IWAMURA CASTLE RUINS AND IWAMURA CASTLE TOWN



霧に包まれる日も多く、別名「霧ヶ城」と呼ばれ、日本三大山城の一つに数えられる名城。戦国時代には武田二十四将の秋山虎繁(信友)に攻められ、時の女城主おつやは城下の民を守るため、虎繁との婚姻を条件に開城した歴史があり、今も女城主をしのび、家々に女性の名前を記した“のれん”を掛け、「女城主の里 いわむら」として語り継いでいます。



岩村城跡に登城した証の御城印
城主遠山家の「丸に二つ引」の家紋を押印。
価格:1枚300円
販売場所:
えなてらす、いわむら。(岩村観光案内所)・
岩村山荘

標高:717m 形式:梯郭式山城 築城:1185年 廃城:1873年 主な城主:遠山 景朝

1 岩村歴史資料館

享保3年岩村城絵図のほか、岩村城や岩村藩の関連史料を展示しています。



住 恵那市岩村町98
☎ 0573-43-3057
時 9:00~17:00(4~11月) 9:30~16:00(12~3月)
入館料300円、高校生以下無料、65歳以上200円
休 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日
年未年始(12月28日~1月4日)

2 御殿門と太鼓櫓

門と櫓は、「岩村城絵図」をもとにして平成2年に復元されました。横には移築された知新館の正門があります。



3 六段壁

城の特徴である六段の壁。もとは段差のない高石垣でしたが、崩落を防ぐために各段に犬走りが設けられています。



4 本丸

本丸は江戸諸藩の府城の中でも最も高い標高717mに築かれていました。表門・裏門とも埋門で厳重な備え。天守はなく、二重の本丸櫓と納戸櫓が石垣の上に構えられ、東西両側に多門櫓、奥の一番高いところに本丸櫓がありました。



5 岩村城下町

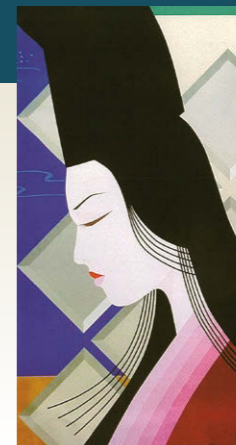
400年の歴史を誇る“重要伝統的建造物群保存地区”の岩村城下町。



ゆかりの 武将

女城主「おつやの方」

1185年(文治元年)、源頼朝の家臣「加藤景廉」が遠山荘の地頭となり、景廉の長男景朝が 岩村城を築き、遠山氏を称しました。戦国時代末期、城主の「遠山景任」が病没し、養子として迎えていた織田信長の五男「御坊丸」がまだ幼少であったため、その夫人「おつやの方」(織田信長の叔母)が女城主として領地を治めていました。いわゆる女城主「おつやの方」です。女城主はたいへん聡明で美しく、領民に慕われていたそうです。現在城下町の商店や各家庭の玄関先に、女城主の里にちなんでその家の「女主人(おかみさん)」の名前を記した「のれん」がかけられています。



体験 プログラム

郷土料理 五平餅づくりワークショップ

岩村町の農村景観日本一地区内に唯一残った築約130年の茅葺の家で岐阜に伝わる郷土料理の五平餅を作ります。※味噌汁、漬け物付き

開催日 毎週土曜日・日曜日(平日は8名様より要予約)
時間 11:00~12:30
定員 8名(それ以上の団体様は要相談)
(最少催行人数1名)
参加料 1,500円
主催 茅の宿とみだ
問い合わせ 0573-43-4021

ガイドと一緒にじっくり見学

申込:(一社)恵那市観光協会岩村支部 事務局
ガイド1名2,000円~(要予約)
TEL:0573-43-3231

グルメ

岩村山荘

女城主の里である岩村名物「戦国料理」は、武将たちが食したであろう野趣あふれる地元食材を炭火で焼いて味わうものです。

住 恵那市岩村町富田569-1
☎ 0573-43-3626
時 11:30~14:00、17:00~21:00 ※要予約(当日可)
休 不定



みはら

ねぎ味噌とごまだれの2種類の五平餅が人気、テイクアウトもできるがイトインならお茶と小鉢付き。

住 恵那市岩村町799-1 時 10:00~18:00
☎ 0573-43-2731 休 火曜日

かんから屋

富田の餅米を100%使用。ふんわりとした餅は、きなこ、ごま、あんこの3種類。ここでしか食べられない味。

住 恵那市岩村町806-1 時 9:00~16:00
☎ 0573-43-2068 休 水曜日・第4木曜・年始



山城 お土産



お城せんべい

石垣をイメージしたせんべいで、お土産に人気。
取扱店:大黒屋

女城主純米吟醸

果実のようなフルーティーな香りと、やや辛口のとても飲みやすい吟醸です。
取扱店:岩村醸造株式会社



岩村カステラー

伝統製法による昔ながらの手づくりカステラーです。
取扱店:松浦軒本店、かめや菓子舗、松浦軒本舗



“えなてらす、いわむら。” (一社)恵那市観光協会岩村支部

住 恵那市岩村町263-2
☎ 0573-43-3231
時 9:00~16:00
休 年末年始



恵那市観光物産館 「えなてらす」

住 恵那市大井町286-25
☎ 0573-25-4058
時 9:00~18:00
休 年末年始

周辺情報

◆ 工芸の館 土佐屋

約260年前に染物業を営んでいた商家で、平成11年4月に「工芸の館 土佐屋」として見学できるようにになりました。



住 恵那市岩村町269-1
☎ 0573-43-3451
時 10:00~16:00
(12月~2月は10:00~15:00)
料 無料
休 水曜日(祝日は営業)、年末年始

◆ 江戸城下町の館 勝川家

江戸時代の商家で、屋号は「松屋」といいます。木造2階建てで書院・茶室・使用人部屋など、当時のままです。



住 恵那市岩村町317
☎ 0573-43-4770
時 10:00~16:00
(12月~2月は10:00~15:00)
料 無料
休 火曜日(祝日は営業)、年末年始

◆ 木村邸 資料館

江戸時代の町家としての様式をよくとどめ、武者窓や藩主専用の出入口もあります。江戸時代中期から栄えた間屋職、御用達職です。



住 恵那市岩村町329-1
☎ 0573-43-2846
時 10:00~16:00
(12月~2月は10:00~15:00)
料 無料
休 月曜日(祝日は営業)、年末年始

◆ 日本大正村

恵那市明智町内に「大正ロマン館」のほか、郵便局や飲食店など、大正時代の建物が点在しています。マップ片手に探索をお楽しみください。



住 恵那市明智町1884-3
(日本大正村事務局)
☎ 0573-54-3944
時 9:00~17:00(最終入場16:30)
※冬季10:00~16:00(最終入場15:30)
休 年末年始

◆ 恵那峡

大正13年に「電力王」福沢桃介により木曾川をせき止めて作られた大井ダムの湖景と奇岩・怪岩が続く峡谷美を鑑賞することができる景勝地。



住 恵那市大井町2709-79
☎ 0573-32-1790
(恵那峡ビジターセンター)
時 終日開放

東美濃支配の拠点となった森氏の居城



美濃金山城跡

MINOKANEYAMA CASTLE RUINS



標高:276m 形式:梯郭式山城 築城:1537年 廃城:1601年頃 主な城主:森 長可

1 出丸

南面には高さ3~4mの石垣が残っており、大部分が戦国末期の遺構になります。現在は駐車場として機能しており、春には、眼下に蘭丸ふるりの森の千本桜が一望できます。



山頂からの眺望

2 東腰曲輪

上に本丸が見える曲輪。破城の際に捨てられた石材や石組みなどが残っています。



3 米蔵跡

山麓の米蔵跡と伝わる場所に壮大な石垣があります。美濃金山城を訪れる者を接応する御殿があったと考えられます。



遺構MAP



4 可児市観光交流館



可児市内の城跡だけでなく、イベント情報や全国各地の城跡情報も知ることができます。館内には、甲冑や忍装束が展示されており、着付け体験やお土産の購入をすることができます。

住 可児市兼山674-1 0574-59-2288 8:30~22:00
入館無料 休 12月28日~1月4日

5 可児市戦国山城ミュージアム



美濃金山城跡をはじめとする市内の山城を紹介するとともに、兼山のまにに伝わる資料を展示する施設です。

住 可児市兼山675-1 0574-50-8443 9:00~最終入館16:00
入館料210円、高校生以下無料、20名以上の団体150円
休 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日
12月28日~1月4日

ゆかりの 武将

森 長可

永禄8年(1565)、織田信長は烏峰城を森可成に与え、その際金山城と改称されたと言われています。可成の息子で、その武勇から鬼武蔵とも称された森長可は、さまざまな戦で活躍しました。最後の戦となった天正12年(1584)の小牧・長久手の戦いでは遺言状を遺しています。その内容は、茶道具など遺品の秀吉への献上や後継ぎの仙丸(忠政)への譲り渡しの部分を除くと、戦国武将としての死への覚悟や残された家族への細かな心遣いが述べられています。猛将としてのイメージの強い森長可ですが、戦いに明け暮れながらも家族への愛情を忘れなかったことが知られます。



森長可画像(可成寺所蔵)

体験プログラム

イクササイズ

甲冑や忍装束を着て、まち歩きや、城跡を登る新感覚エクササイズ。運動をしながら城跡についても学べます。

時間 3時間程度(着付けの時間含む)
参加料 忍者 1,500円~
甲冑 2,500円~ ※要予約
主催 可児市観光交流館
問い合わせ 0574-59-2288

ガイドと一緒にじっくり見学

申込:可児市山城連絡協議会
1,000円~(要予約)
TEL:0574-50-8443

グルメ

蘭丸亭

木曾川の渓谷を眺めながら味わう「野戦なべ」。武将たちが兜を鍋にしたのではないかの説から鉄鍋を使った野趣あふれる料理です。

住 可児市兼山1203-2 0574-59-2543
時 11:00~14:00、17:00~20:00
休 水曜日、第3木曜日



とろろめし萬葉

地産の自然薯を使用したとろろ汁のほか、四季により旬の可児市産食材を使用した料理が味わえます。

住 可児市久々利字下岡本810 0574-64-5060
時 11:00~14:00、17:00~19:00
休 火曜日(祝日の場合は営業)

可児かまど本店

可児市特産の「里芋」「中鉄砲大豆」を使用した明智光秀御膳など、地域食材を使用した料理を楽しめます。 ※明智光秀御膳は要予約。

住 可児市下恵土526-1 0574-61-3550
時 11:30~15:00、17:00~23:00
休 月曜日



山城シリーズ

可児市に多く点在する「山城」をテーマとした焼き菓子です。可児市産の菓などが使用されています。取扱店:洋菓子店ラ・パニエ



光秀

光秀の家紋である桔梗をモチーフにした最中です。第19回全国菓子大博覧会大賞を受賞しました。取扱店:老舗市原屋



明智光秀・明智天海

本醸造「明智光秀」と純米酒「明智天海」です。岐阜県産米と岐阜の水、岐阜の酵母を使用した飽きの来ないすっきりとした辛口のお酒です。取扱店:林酒造(株)ほか



道の駅 可児ッテ

住 可児市柿田416-1 0574-61-3780
時 9:00~18:00
休 1月1日、2日



可児市子育て健康プラザ manoショップ

住 可児市下恵土5076 0574-62-1111
時 9:00~18:00
休 第1土曜日、年末年始

周辺情報

木曾川渡し場遊歩道

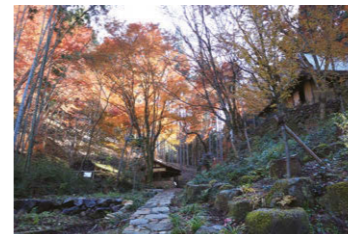
水の音や、竹特有の香りを感じることが出来る穴場スポットで、「かぐや姫の散歩道」という名称でも親しまれています。



住 可児市土田から今渡の木曾川沿い 0574-62-1111(可児市観光交流課)

荒川豊蔵資料館

人間国宝である陶芸家、故・荒川豊蔵の作品が多数展示されています。豊蔵の世界をご堪能ください。



住 可児市久々利柿下入会352 0574-64-1461 9:30~最終入館15:30
入館料210円、高校生以下無料、20名以上の団体150円
休 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始

可成寺

森家の菩提寺で、森可成、森長可、本能寺で明智光秀によって討ち死にした森丸丸、森坊丸、森力丸ら三兄弟のお墓があります。



住 可児市兼山596

花フェスタ記念公園

バラエティ豊かなバラが植えられた世界最大級のバラ園です。バラの季節はもちろんのこと夏は水遊びなど1年を通して家族みんなで楽しめるバラと花のテーマパークです。



住 可児市瀬田1584-1 0574-63-7373
時 9:00~17:00(季節により変更あり)
料 大人530円、高校生以下無料、(バラまつり大人1,050円)
休 火曜日、年末年始(バラまつり期間中は無休)

標 高276mの古城山に築城され、天守、本丸、二の丸、三の丸、各曲輪が配されていました。織田信長が東美濃を攻略した際、家臣の森可成が城主となりますが、宇佐山城の戦いで討死。森家次男の長可が城主となりました。城下町との標高差は約170mあります。



国史跡指定と続日本100名城「美濃金山城跡」に登城した証の御城印。烏峰城から金山城に改称後の城主、森家の家紋が押印してあります。 ※季節によりデザインが変更されます。 価格:1枚300円 販売場所:可児市戦国山城ミュージアム

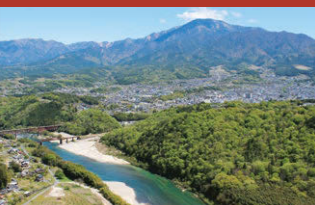
木曾川河畔の岩山に築かれた、絶景を望む山城



苗木城跡

NAEGI CASTLE RUINS

苗木城は別名高森城・赤壁城・霞ヶ城とも呼ばれ、江戸時代は苗木遠山家12代の居城として明治維新まで使われた山城です。巨岩の上に建てられた天守や懸造による建築など、全国的にも珍しいものでした。天守展望台からは日本百名山の恵那山や木曾川周辺、中津川市街地を一望でき、絶景スポットとしても人気です。



天守展望台からの眺望

山城御朱印情報



苗木城跡訪問の記念にどうぞ。
価格:1枚300円
販売場所:苗木遠山史料館
苗木地域まちづくり推進協議会
(苗木事務所内)土曜、日曜、祝日休み

標高:432m 形式:山城 築城:1526年 廃城:1871年 主な城主:遠山 友政

1 苗木遠山史料館



中世・戦国時代から明治時代初期までの文化遺産を保存・公開。苗木領と苗木城の貴重な資料を展示しています。

住 中津川市苗木2897-2
☎ 0573-66-8181
開 9:30～最終入館16:30
料 入館料330円、中学生以下無料
休 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



苗木城再現ジオラマ



2 大矢倉跡

外観からは二層に見えますが、実際は三階建てだったと言われています。別名「御鳩部屋」とも呼ばれていました。



3 天守展望台

天守は巨岩の上に懸造によって建てられ、三層となっていたようです。巨岩に彫られた柱穴を利用して、展望台が建てられています。



苗木城復元CGビューア



岩山に築かれた苗木城。建物は全て板張または土壁であり、「赤壁城」とも呼ばれました。

(イメージCG:浅野孝司氏制作)

ゆかりの武将

遠山友政 (1556～1619)

遠山友政は遠山友忠の子として飯羽間城に生まれました。祖父遠山友勝が織田信長の命により苗木城へ入り、その後友忠・友政父子が苗木城を継ぎました。天正11年(1583)森長可に苗木城を攻められ、父友忠とともに苗木城を明け渡すこととなりました。その後、浜松の徳川家康に付き、館林の榊原康政の旗下にいました。慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いの直前に家康の命を受け苗木城を奪還し、苗木藩10,521石を拝領し大名に任ぜられました。友政は苗木藩初代藩主となり、その後苗木遠山氏は明治に至るまで国替えも無く、第12代遠山友禄まで藩主として苗木藩を治めました。



体験プログラム

ボランティアガイド

地元ガイドが苗木城跡や苗木遠山史料館をご案内します。ガイドと巡ると見落としがちなスポットや歴史的な裏話が聞け、さらに楽しめます。ガイドと一緒に戦国ロマンの面影を感じてみませんか。

所要時間 50分～ご希望に応じて
利用料金 個人(9人以下)・・・500円
(協力金) 個人(20人以下)・・・1,000円
団体・・・2,000円
※要予約
主 催 苗木城跡案内ボランティアの会
問い合わせ 0573-66-8181 (苗木遠山史料館)



グルメ

ひだ路元起

おすすめのランチメニューは「苗木城大名椀膳」。洋風、和風の2種類ありどちらもびっくりするほどの得盛りランチです。

住 中津川市苗木1826-1
☎ 0573-66-7511
時 9:00～21:00
休 無休(臨時休業となる場合があります。)



苗木城大名椀膳(洋風) 840円

丸市食堂

名物「五平餅」。中津川市は団子型が主流です。焼きたてのおいしさを是非味わってみてください!

住 中津川市苗木4929-7
☎ 0573-65-3979
時 10:00～23:00
休 月曜定休
(臨時休業となる場合があります。)



五平餅 1本120円

ミスター・イングリッシュ・コーヒー 24/7ドライブスルー

中津川ブレンドなどオリジナルコーヒーをドライブスルーで楽しめます。店舗裏には自家焙煎豆をその場で挽いて出す自動販売機があり、24時間利用できます。

住 中津川市苗木4849-4
時 10:30～15:30(土日祝のみ営業)



自動販売機は年中無休
コーヒー100円～
コーヒー豆も購入可

山城お土産

中津川めぐり苗木城跡 350円

栗きんとん味のかりんとう。やみつきになる一品。
※苗木遠山史料館で購入可



栗納豆こわれし 540円

石垣の形を栗でイメージ。甘さ控えめの上品な味わい。

苗木城赤壁伝説絵巻 500円

苗木城跡の赤壁伝説や見どころを描いた絵巻。
※苗木遠山史料館で購入可



苗木城伝説 216円

練り餅に栗きんとんを包んだ和菓子。赤壁伝説をイメージ。

とのまち

720ml 1,540円
遠山家へ献上していたと伝わる「殿待ち」を現代に再現。すっきり辛口の味わい。



赤壁城伝説・赤かべ 500円

苗木城跡に関する焼印が入った素朴な卵せんべい。



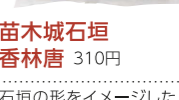
赤壁城はちみつ 1,000円

別名「赤壁城」の色をイメージした、そよごの花から採れたはちみつ。



苗木城石垣 香林唐 310円

石垣の形をイメージした一口サイズのかりんとう。



周辺情報

中山道中津川宿

中山道の45番目の宿場。「うだつ」のある街並みや、幕末期の貴重な資料などを展示する中山道歴史資料館が見どころです。



住 中津川市本町
☎ 0573-62-2277 (中津川市観光案内所)
0573-66-6888 (中山道歴史資料館)

中山道馬籠宿

岐阜県で最も東にある中山道の宿場町。急峻な坂道に石畳が敷かれ、両脇には風情ある街並みが続きます。文豪島崎藤村生誕の地としても有名。



住 中津川市馬籠
☎ 0573-69-2336 (馬籠観光協会)

道の駅花街道付知

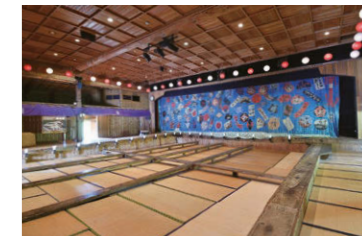
「付知峡」の入口にある道の駅。地元の特産品、新鮮野菜を販売する売店や、名物のケイちゃん定食、飛騨牛丼が人気の食堂も。



住 中津川市付知町8581-1
☎ 0573-82-2000
開 9:00～18:00(駐車場・トイレは24時間利用可)
休 毎月第1・第3火曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始

かしも明治座

明治27年に建てられた芝居小屋で、岐阜県重要有形民俗文化財に指定されています。ガイドツアー(有料)では廻り舞台や奈落などが見学できます。



住 中津川市加子母4793-2
☎ 0573-79-3611
開 10:00～16:00
休 月曜日、年末年始